

2018 Future Skills Project (FSP) 報告書

名城大学外国語学部

1. Future Skills Project (FSP) の目的

グローバル化が進展する社会では、ツールとしての語学力だけでなく、社会を構成する多様な価値観を理解し、文化の異なる人々と対話を通じて関係を構築する力が強く求められています。名城大学外国語学部国際英語学科では、Hands-On Learning (体験重視型学習)を通じて、実社会で必要とされる「英語力」、世界や日本の多様な価値観を知る「国際理解」、社会や世界で活躍するための「実践力」などを養成します。その教育を通して、自らの言葉で世界と対話・協働し、新たな価値をつくり出す Global Communicator【世界人材】を育成することを目指しています。

その理念のもと、社会や世界で活躍できる「実践力」養成の一つとして、学生の主体的な学びを醸成するため、企業からの協力を得て、連携した教育プログラム、Future Skills Project (FSP) を実施します。企業から、実際に問題となっているリアルな課題を学生に課していただき、学生はその課題に対してグループで取り組み、学生同士の『学びのコミュニティ』を構築します。

企業から課せられた課題への取り組みを通じて、失敗（時には成功）を体験しながら、学生が「自分に足りないもの」を見つけ、自ら行動を起こす「チャレンジ精神」や「主体的に動く力」を身につけていくことを目的としています。さらに本プログラムをきっかけとし、4年間の学びについても、学生自らが学びの「目的」を明確化し、より主体的、計画的に取り組んでいくようになることが期待されます。

2. 内容

1年前期の基礎演習Ⅰ（必修科目）において、FSPプログラムを実施しました。学生は、企業から課された課題に対して、その解決策をチームで調べ、検討し、プレゼンテーションを行います。学生は、15回の授業のうち、2社の企業の課題に取り組みました。

1企業が3コマを担当し、下記の通り授業が展開されました。

- ①企業課題提示⇒チーム活動⇒②第一次提案プレゼンテーション（企業講評）
⇒チーム活動⇒③最終提案プレゼンテーション（企業講評）

2018年度 スケジュール

| 講座回 | 日程（火） | 企業参加 | 内容 |
|-----|-------|------|-----------------------|
| 1 | 4月3日 | | マインドセット |
| 2 | 4月10日 | | 課題とは？ディスカッションとは？ |
| 3 | 4月17日 | 企業A | 企業概要説明/課題提示 |
| 4 | 4月24日 | | チーム活動 |
| 5 | 5月8日 | 企業A | 企業への第一次提案プレゼンテーション・評価 |
| 6 | 5月15日 | | チーム活動 |
| 7 | 5月22日 | 企業A | 企業への最終提案プレゼンテーション・評価 |
| 8 | 5月29日 | | 振り返り・スキル学習の紹介・チーム再編 |
| 9 | 6月5日 | 企業B | 企業概要説明/課題提示 |
| 10 | 6月12日 | | チーム活動 |
| 11 | 6月19日 | 企業B | 企業への第一次提案プレゼンテーション・評価 |
| 12 | 6月26日 | | チーム活動 |
| 13 | 7月3日 | 企業B | 企業への最終提案プレゼンテーション・評価 |
| 14 | 7月10日 | | 振り返り・スキル学習の紹介 |
| 15 | 7月17日 | | ポスタープレゼンテーション・総括 |

2018年度 協力企業 (アイウエオ順)

イオンリテール (株)、エアアジア・ジャパン (株)、NTTタウンページ (株)、(株) JT B、中部国際空港 (株)、大和ハウス工業 (株)、(株) 地球の歩き方 T&E、(株) トリエス、名古屋ダイヤモンドドルフィンズ (株)、パーソルキャリア (株)、丸善雄松堂 (株)、(株) レクスト

3. 成果

2018年度のFSPプログラムの授業を通し、学生たちのどのような点が成長し、何を学んできたかについてアンケート調査を実施しました。調査実施日は2018年7月10日で、有効回答数は131名、未回答1名です。

(1) 学生の成長・学びについて

企業からの課題への取り組みを通して、約95%がとても成長した、あるいは成長したと実感していました。具体的には、どのような点が成長したかを2つ選択肢から選ばせたところ、48名が「相手に自分の意見を伝える力」、45名が「課題をとらえる力」、44名が「解決策を考える力」、43名が「チームとして動く力」、という項目が伸びたと感じています。

しかし、上記の3項目は、それぞれ、「相手に自分の意見を伝える力」は49名、「課題をとらえる力」は47名、「解決策を考える力」は38名が改善する点として挙げています。企業からの課題をとらえ、解決策を考え、それを相手に伝える力がついたと思う反面、まだ十分ではないと思う学生が同数近くいることがわかります。

一方で、「チームをリードする力」が成長したと感じた学生は13名で、改善する点として49名が挙げており、チーム内でリーダーとしての役割におけるの難しさを感じているようです。FSPのチーム活動で、お互いが協力し、チームとして動くことはできたが、その中で、リーダーとして動くということが困難であると感じています。しかし、一人一人がリーダーとして動く重要性を理解しているために、改善しなくてはいけないと考えています。

「情報収集する力」に至っては成長したと感じている学生は23名で、24名の学生が改善すべき点としてあげています。その他としては、初めての相手と話し合うことができ、パワポを作成する力が伸びたと感じている学生がいる一方で、根拠となる情報を提供し、ロジカルに考える力が不十分であるという学生もいました。

以上のことから、FSPにおける課題への取り組みにおいて、チームとして動き、自分の意見を伝えたり、課題を解決する力が伸びたと感じている一方で、課題をとらえ、相手に意見を伝え、情報収集する力がまだ不十分であると感じ、さらにチームをリードする力が不足していると認識していることがわかります。

(2) 課題への取り組みにおいて苦労した点について

企業からの課題への取り組みにおいて苦労したこととして、92名が「課題を理解すること」を挙げており、前述の項目でも「課題をとらえる力」の不足を認識しているように、企業でどのような点が問題となっているかを正確に理解することが困難であったことが伺われます。さらに、チーム活動において、57名が提案内容をまとめたり、56名がグループ内で意見を調整したりすることに苦労したと回答しています。しかし、グループ内での調整等

苦慮したこともあったようですが、学生の 90%以上が、チームとして十分機能したと回答しています。

(3) 情報収集の方法について

情報収集の具体例としては、インターネットが 113 件と圧倒的に多く、次がアンケート（学生：71 件、外部：17 件）と続き、書物からの情報収集は 11 件と少ないことから、インターネットでの情報収集が主であることがわかります。しかしながら、アンケートなどからできるだけオリジナルのデータを積極的に集めようとしていることがわかります。

(4) 企業・業界への理解などについて

FSP プログラムを通して、就職や社会に対して、93%以上が意識するようになっていました。参加企業については、プログラム開始以前から、企業によって、B to C である企業についての認知度は高かったようですが、B to B の企業についてはあまり認知度が低かったようです。しかしながら、FSP プログラム後は、それらの企業への親近感が増し、その業界の知識を得たいというように積極的な意識を持つようになり、その企業のサービスを利用したいと考えています。

(5) まとめ

以上のことから、FSP プログラムを通して、学生は、自分自身が成長し、チームとして動き、意見を述べ、問題解決する力を伸ばしたと実感すると同時に、企業からの課題を理解する力やチームをリードする力、インターネットやアンケートだけではない情報収集力を養成していく必要があると強く認識していました。

また大学 1 年生前期の企業経営や社会への知識・経験がない中で、リアルな企業からの課題を解決していく過程から、企業からのアドバイス・指摘を受け、失敗・成功などを実体験し、今後の学生生活がより具体的に、主体的な学びの場になることという FSP の目的が達成できているといえます。

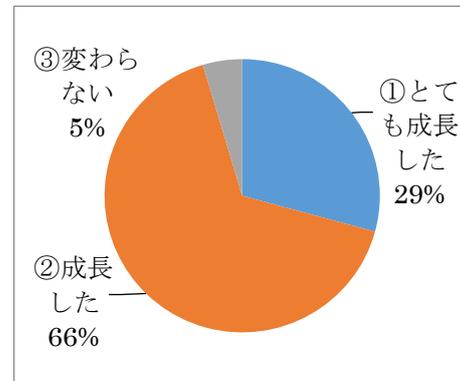
4. アンケートデータ

【調査実施日】2018年7月10日

【回答数】131

1. 企業からの課題への取り組みを通じて、自分が成長したと感じますか？（内2名未回答）

| | 回答数 | 割合 | 95.4% |
|----------|-----|-------|-------|
| ①とても成長した | 38 | 29.2% | |
| ②成長した | 86 | 66.2% | |
| ③変わらない | 6 | 4.6% | |



2. 企業からの課題への取り組みを通じて、自分のどのような点が成長したと思いますか？

最も成長したと感じた点を2つまで選んでください。

3. 企業からの課題への取り組みを通じて、自分のどのような点を改善する必要があると思いますか？最も必要だと感じた点を2つまで選んでください。

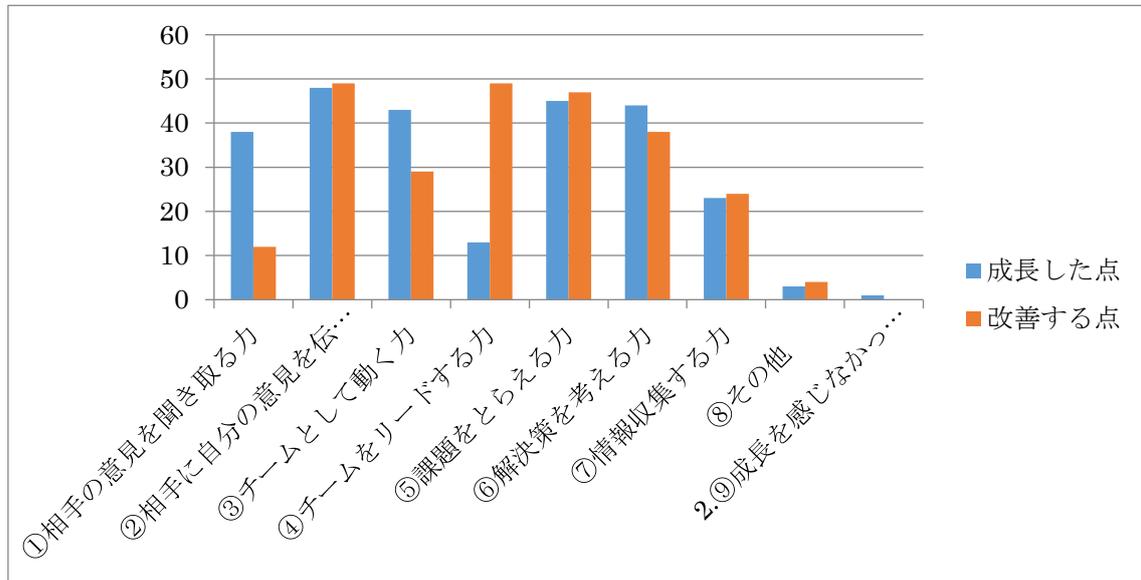
| | 成長した点 | 改善する点 |
|--------------------|-------|-------|
| ①相手の意見を聞き取る力 | 38 | 12 |
| ②相手に自分の意見を伝える力 | 48 | 49 |
| ③チームとして動く力 | 43 | 29 |
| ④チームをリードする力 | 13 | 49 |
| ⑤課題をとらえる力 | 45 | 47 |
| ⑥解決策を考える力 | 44 | 38 |
| ⑦情報収集する力 | 23 | 24 |
| ⑧その他 | 3 | 4 |
| 2.⑨成長を感じなかった。 | 1 | 0 |
| 3.⑨改善する必要性を感じなかった。 | | |

2. ⑧その他の記述

「パワポを見やすく分かりやすく作る力」「他人をみる力」「初めての相手と話し合う力」

3. ⑧その他の記述

「根拠となる情報を提供する力」「行動を起こすこと」「ロジカルに考える」「意見を言いやすい環境を作る力」



4. 企業からの課題への取り組みにおいて、苦勞したことは何ですか？苦勞したことを2つまで選んでください。(未回答1名)

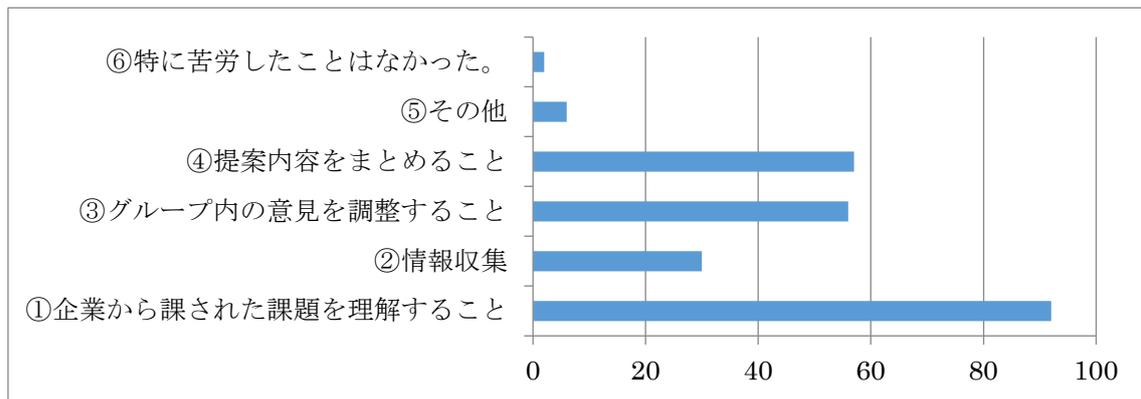
| | 回答数 |
|--------------------|-----|
| ①企業から課された課題を理解すること | 92 |
| ②情報収集 | 30 |
| ③グループ内の意見を調整すること | 56 |
| ④提案内容をまとめること | 57 |
| ⑤その他 | 6 |
| ⑥特に苦勞したことはなかった。 | 2 |

4. ⑤その他の記述

「パワーポイントの作製」「金銭面での利益について考えること」

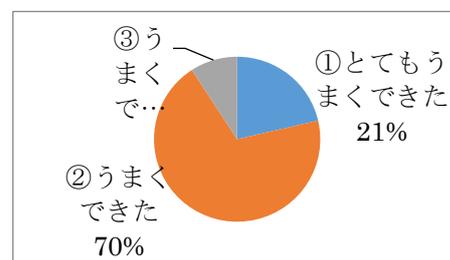
「自分の意見が合っているかどうかを調べること」「役割を平等に分担すること」

「時間をつくること」「企業はどうしたいかがわからなかった」



5. 企業からの課題への取り組みにおいて、チームとして機能することはできましたか？

| | 回答数 | 割合 |
|------------|-----|-------|
| ①とてもうまくできた | 28 | 21.4% |
| ②うまくできた | 91 | 69.5% |
| ③うまくできなかった | 12 | 9.2% |



6. 企業からの課題への取り組みにおいて、どのように情報収集しましたか？（複数回答可）

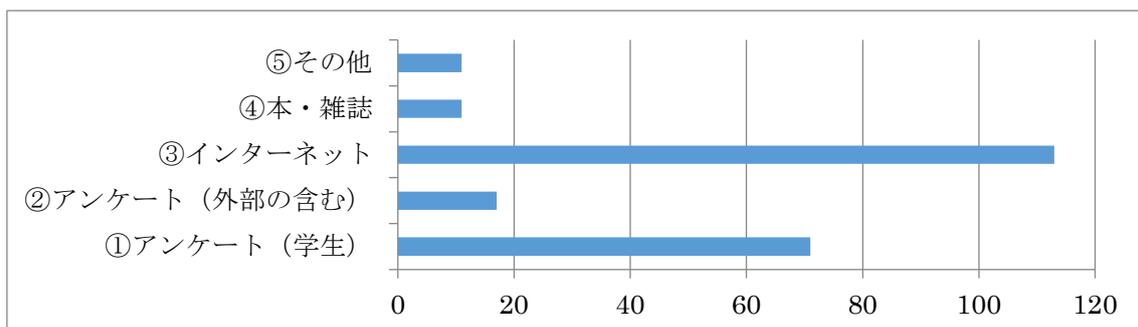
| | 回答数 |
|---------------|-----|
| ①アンケート（学生） | 71 |
| ②アンケート（外部の含む） | 17 |
| ③インターネット | 113 |
| ④本・雑誌 | 11 |
| ⑤その他 | 11 |

6. ⑤その他の記述

「先生へのアンケート」「先生へのインタビュー」「実際にお店に行く」

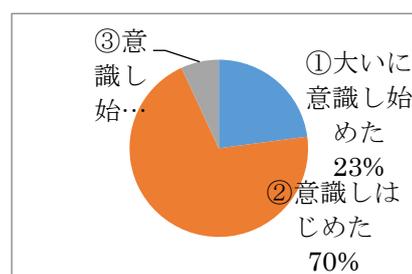
「実地訪問」「実地調査」「実際に調べに行く」「現地調査」「店頭での調査」

「家族に話をきいた」「HP」「企業から直接きく」



7. 企業からの課題への取り組みを通じて、就職／社会について、意識し始めることができましたか？

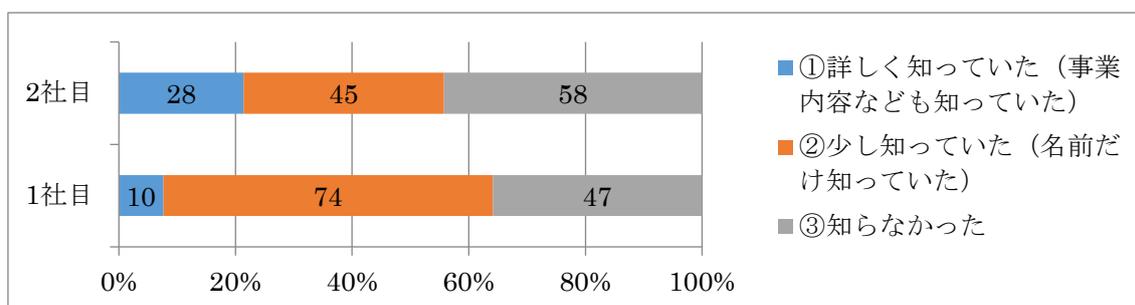
| | 回答数 | 割合 |
|----------------|-----|-------|
| ①大いに意識し始めた | 30 | 22.9% |
| ②意識しはじめた | 92 | 70.2% |
| ③意識し始めることはなかった | 9 | 6.9% |



(協力企業について)

8. 課題をご提供いただいた企業について、講義を受ける前から知っていましたか？

| | 1社目 | 2社目 |
|--------------------------|-----|-----|
| ①詳しく知っていた (事業内容なども知っていた) | 10 | 28 |
| ②少し知っていた (名前だけ知っていた) | 74 | 45 |
| ③知らなかった | 47 | 58 |

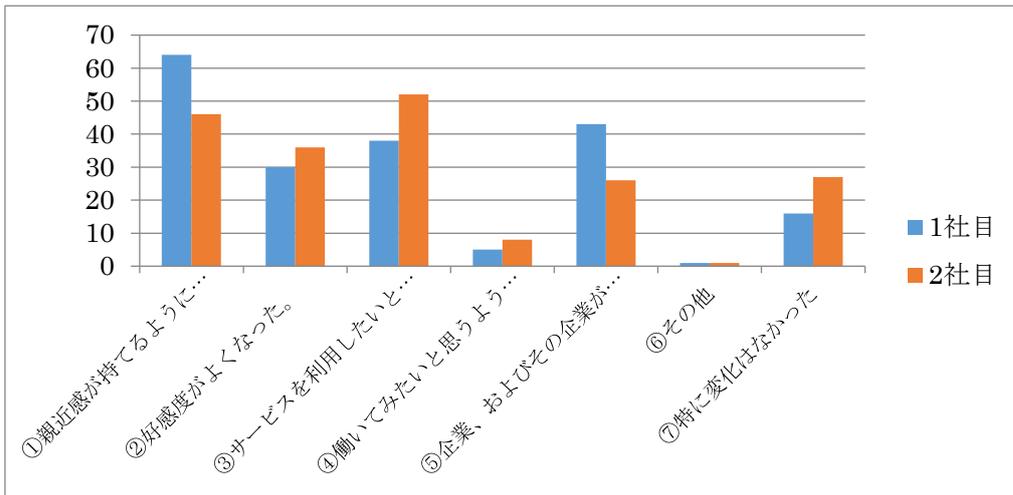


9. 講義を通じて、課題をご提供いただいた企業に対する印象の変化はありましたか？

あてはまるものを2つまで選んでください。

| | 1社目 | 2社目 |
|--|-----|-----|
| ①親近感が持てるようになった | 64 | 46 |
| ②好感度がよくなった。 | 30 | 36 |
| ③サービスを利用したいと思うようになった | 38 | 52 |
| ④働いてみたいと思うようになった | 5 | 8 |
| ⑤企業、およびその企業が属する業界 (旅行業界、人材派遣業界など) に興味が持てるようになった。 | 43 | 26 |
| ⑥その他 | 1 | 1 |
| ⑦特に変化はなかった | 16 | 27 |

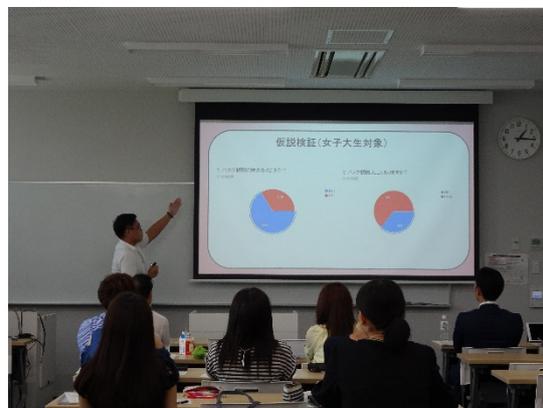
9. ⑥その他の記述：「はたらくことをたのしいと考える人もいるんだと思った」
「社会の怖さを知った」



クラス写真



チーム活動



最終提案プレゼンテーション



第一次提案プレゼンテーション



企業講師講評



全体ポスター発表会

制作：2018年11月5日
名城大学外国語学部